

むすび

特定保健用食品は第1号商品が誕生してから10年経過し、その間、乳酸菌によるヨーグルトなど「おなかの調子を整える」食品を中心に推移してきた。最近、消費者の生活習慣病を回避するというトクホへの期待が強く、これに応えるべく開発された食品が定着してきた。中性脂肪・体脂肪、血糖値、コレステロール、歯に関連する食品（食用調理油、茶、ガムなど）である。これらは、身近な食品形態であることに加えて、トクホとして消費者ニーズに応えていると思われる。

いずれの食品も導入期・成長期にあり、更に大きく成長して、トクホの主演となっていくことは想像に難くない。中高年の生活習慣病の増加が懸念される折から、特定保健用食品は国民の健康な生活に寄与するという目的に今後ともより近づくことが期待される。

以上